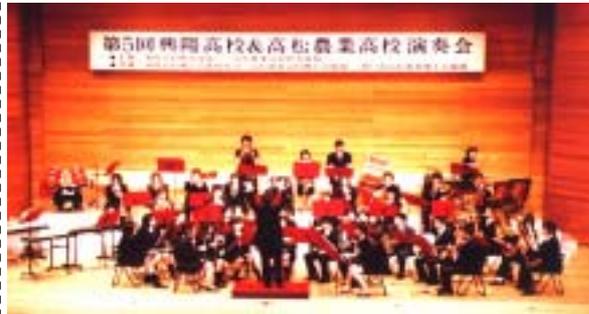


備中高松城下町かわら版

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌
第6号
平成17年2月18日
発行元
岡山県立
高松農業高校
tel 086-287-3711
fax 086-287-3713



第5号でもご紹介した昨年12月23日に倉敷市芸文館ホールで開催された興陽高等学校との合同演奏会の様子。指揮は本校教諭松岡聡教諭（生物工学科）です。

【朝礼台】

企業から学校に求められること
先般、産業界と学校の代表が集まり、意見交換や情報交換を行う機会がありました。その中で、企業側から、「コミュニケーション能力や対人関係能力、基本的マナー等、職業人としての基礎的資質・能力の低下が指摘されました。その背景には、子供の時から様々な直接体験の機会や異年齢者との交流の場が少ないこと、豊かで成熟した社会にあつて、人々の価値観や生き方が多様化していることなどが考えられます。本校では、地域の優れた人材を社会人講師としてお招きしたり、企業等でのインターンシップを取り入れたりするなど、学校外の社会に触れる機会をできるだけ多くし、変化の激しい社会の生の現実を生徒達に伝えるとともに、部活動やボランティア活動等を通して生徒達が日頃から、幅広い人間関係を持つことができるよう取り組みたいと考えております。

(校長より)

【木曜礼日】昨年の秋、本校の農場を訪れた女の子からお手紙をもらいましたのでご紹介いたします。

『びっくり大はっけん』

先生、おにいちゃん、おねえちゃんへ
うしのおかちゃんが生まれておめでとうございませう。わたしも生まれるところが見たかったけれどその日は、ひかりくらぶだつたから見れなかつたよ。でも、また2・3日に生まれるから見られるかも。でも、朝か、昼か、夜生まれるかわからないね。また、見れる日は見れる。見れないときは見れないでいたい決まってるもんね。あのうしかわいかったよ。きのうの5時にうまれて女の子だよ。すこくかわいかったよ。
庄内小学校・女子

【せせらぎ】とにかく生徒さんが礼儀正しいですね。それと、レスリング部の生徒さんが、朝早く学校に行くのを駅で見かけますけれど頑張っていますね。農場の野菜を売りに来られる生徒さんたちも、礼儀正しいのでとても良い感じですよ。
高松・女性・四十四歳

【おしらせ】最近、本校職員の名を名乗って卒業生宅などに百十周年の寄付を募ったり連絡方法を聞くなど不審な電話がかかってきます。このことは本校とは全く関係ありません。

【歓声】



2月5日(土)高松地区駅周辺清掃奉仕活動に本校サッカー部・生徒会役員らの十六人が参加しました。早朝の1時間でしたが、地域の人と一緒に楽しく活動しました。本校生徒会はこのまでも落書き消し、清掃など地道に独自の活動もしています。

【放課後】生徒の部活動・課外活動のこと

レスリング部・1月29日・30日、水島緑地福田公園体育館で開催された、第20回中国高校選抜レスリング大会に本校から団体戦と個人戦に総勢14名が参加した。4年ぶりの出場の団体戦では2回戦で隠岐前高校(鳥取県)に6-1で快勝。続く鳥取中央英英高校(鳥取県)に3-4で惜しくも敗れ、決勝進出を逃した。しかし、3位に入賞し、本校として初めて全国選抜大会出場を決めた。続く個人戦では、50kg級で果大会第3位で補欠だった横畑翔太くん(農業土木科2年)が栗チャンピオンが棄権したため急遽繰り上げ出場し、無欲で勝ち進み初優勝した。さらに60kg級・第2位・大道翔貴くん(農業土木科2年)、84kg級・第1位・金光正浩くん(園芸科2年)、96kg級・第4位・安原涼平くん(生物工学科2年)、120kg級・第4位・時信光くん(農業土木科1年)と好成績をあげた。この結果、横畑・金光・大道くん(前出)の3人が個人でも全国大会へ切符を手に入れた。3月27・29日の新潟県で開催される全国大会には団体・個人ともに出場する。

第4回見聞杯杯スポートズ奨励賞表彰・レスリング・農業土木科3年・高林努くん(団体少年男子フリースタイル120kg級第2位、高校総体個人120kg級第3位)、「ライフル射撃」生物工学科3年・石坂真一くん(団体10m s 60 M J 第3位、JOC10mライフル少年男子第3位)。

卓球部・この1年試合結果から、昨年の5月1日の中国地区予選からすべての試合記録が寄せられた。ダブルス・シングルスを合わせて、この1年で延べ160試合をこなした。特に思い出すのは昨年の5月の備北総体である。予選リーグで吉備北陵・高梁工業、総社高校を破り、備北地区第4位で果大会出場するも、果大会では玉野光南に0-3で負ける。あれからほぼ1年、1・2年生の早朝練習は一日も休むことはない。

ラグビー部・1月29日・岡山県ラグビー新人大会・高松農業・理大付5・53期。大健闘
【職員室】本校・内田康晴教諭(数学科主任)が1月26日に東京・日経ホールで開催の文部科学省主催の「OECD調査から見る日本の教育」という講演に参加。講師は、アンドレア・シユライヒャー氏(OECD教育局指標分析課長)。報告では、日本の生徒の学力はトップクラスだが家庭学習時間は最低、数学の力もトップクラスだが、皆苦手意識を持っている。日本は学力差が大きい国の一つで、フィンランドのようにどの学校も同レベルで学力の高い国もあるとの

ことなど。何よりも英語で話されたこの講演を、生で聴いてきた内田教諭の英語力(英検準1級)がスゴイ。

【農場】農業経済科で春の野菜苗の種まきが始まる。ナス・シシトウ・ピーマン・トマト・ミニトマト・スイカ・キュウリ・オクラ・カボチャ・ハクサイ・キャベツなど、約一万三千本。販売は高松の春のふれあい市(4月3日(土))の頃、地域の皆さん、楽しみにしてください。

【陽光】

左の写真は、社会人講師活用事業で本校に来ていただいた池田牧場岡山店長池田毅氏(一級愛玩動物飼育管理士)です。畜産科1年生を対象に約百分の講義をしていただきました。



その中で、ペット産業界から見た人間社会の興味深い話として、動物園の前に子犬を捨てていく人、鳥がかわいそうと言って焼き鳥を食べる人の話、また、ペットは家族の一員として飼うことが大切だということ。ウソを言つてペットを売るののは簡単、本当のことを言つて売るのは大変だということ。単にペットが可愛いだけでは動まらない、これからの動物産業がどうあるべきかなど貴重な勉強をしました。なお、今春には池田動物園に本校畜産科卒業生が1名、就職します。

「ホームルーム」花の咲かない寒い日は、下へと根を伸ばせ。山梨学院大学の駅伝部の上田誠仁監督が、創部六年目の一九九二年、箱根駅伝で初優勝を飾るまで、それまで選手たちに言っていた言葉だ。さて、もうすぐ、三年生が卒業式を迎える。この高松で、花が咲くように成果があった人もいるだろう。未だそれを実感していない人もいるだろう。ただ、彼らには、田に養分を入れ、花の根元にそっと水をやり、生まれたばかりの子豚を抱きかかえ、炎天下のグラウンドで滴る汗をぬぐい、パン生地を赤ちゃんのように入れ込んだ三年間がある。濃密な事故・事件が後を絶たないが本校卒業生には無縁である。農業を通して常に自然や生命と触れて学習した一九九五年。諸君、この三年間は誇って良い。一〇六回目の卒業式が平成十七年三月一日、午前十時から始まる。